

# ワシントン大学短期英語留学 報告書

岩見沢校 スポーツ文化専攻 1年 藤本 咲季

## 1. プログラムについて

### ・ STEP

平日の午前中は学力別で分けられたクラスで、英語の講義がありました。私のクラスでは、配布されたテキストはあまり使わずにプリントを使用することや、会話をするが多かったです。また、講義室に座っているだけでなく、外に出て外国人の方に質問をして会話することも何回かありました。

私のクラスは英会話や英語に自信のない方でも、肩の力を抜きながら本場で英語の勉強ができると感じました。先生やクラスメイトはとてもフレンドリーですぐに仲良くなることもでき、ストレスを感じずに3週間過ごすことができました。



最終日の修了式にてクラスのみんと先生

### ・ 課外授業

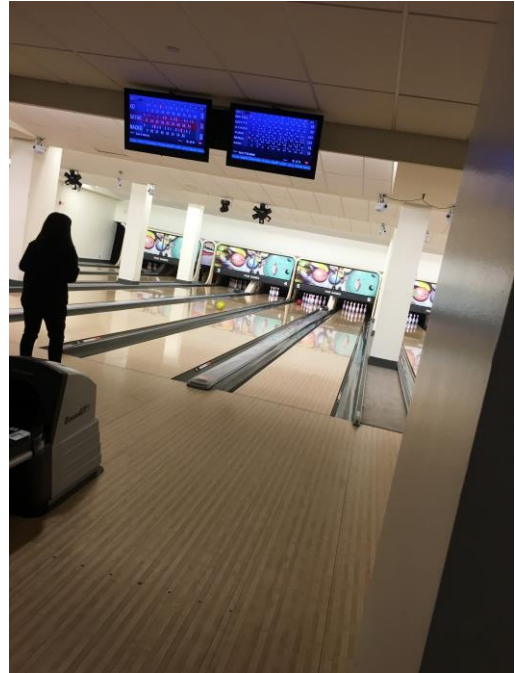
毎週火曜日と木曜日の放課後に参加者のみんなでシアトルの街にお出かけをしました。これは参加自由でクラスも関係なく行動することができます。

シアトルセンターやパイクプレイスマーケット、美術館、HUB、ベインブリッジ島といった様々な場所に行くことができました。ワシントン大学の職員の方が引率してくれるので、まだ街に慣れていない方や、どこに行ったらいいかわからない方は是非参加することをお勧めします！私が一番思い出に残っているのは、ウォーターフロントからフェリーにのってベインブリッジ島に行った

ことです。是非参加する方は、ベインブリッジ島に行ってみてください！



大学内にある HUB にて  
ビリヤードとボーリング



## 2.シアトルでの生活

一日中雨が降っているわけではないですが、雨が降らない日は少なかったです。ですが、そこまで冷え込むこともなく、北海道の春に近い気候なのではないのかと思いました。折り畳み傘やレインパーカーを持っていくといいです。シアトルと日本の時差は17時間で、途中からサマータイムが始まり時差は16時間になりました。時差ボケはありませんでしたが、サマータイムが私は一番辛かったです。

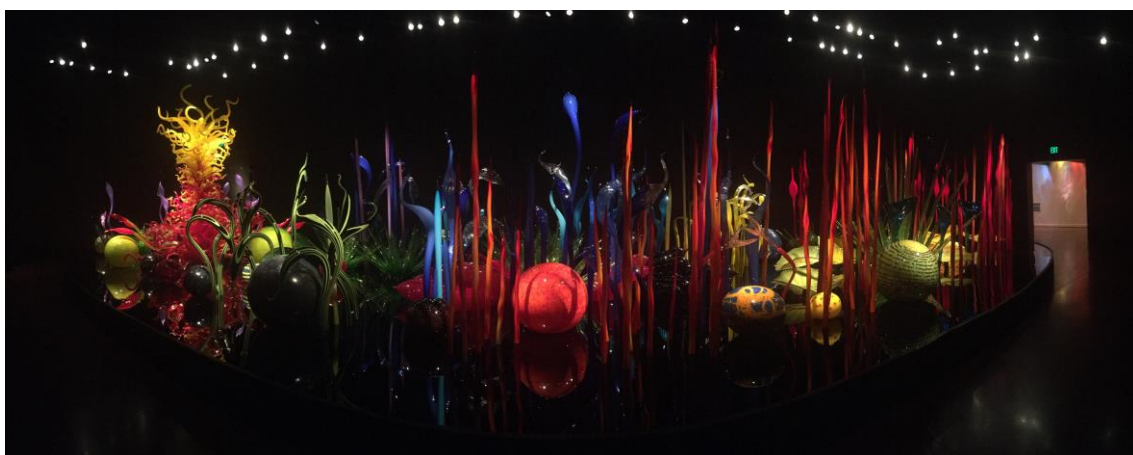
食べ物は口に合わないものも多少はありましたが、暮らしていけないほどではありませんでした。外食するときは、常に友人とシェアすることをお勧めします。そして、日本と同じ味付けだと思はないほうがいいです。



ホストファミリーに  
連れてきてもらった  
シアトルのお寿司屋  
さん。



シアトルの街にはホームレスの方がたくさんいました。ですが、危害を加えられることはなかったです。「夜道はあぶないよ」とホストファミリーや先生に教えていただいていたので、夜に私は出歩きませんでした。ですが、講義終わりには毎日友人と観光をしました。シアトルは、見る場所がたくさんあるので3週間いても飽きることはありませんでした！参加するみなさんもたくさん出歩いてみてください！



### Chihuly Garden and Glass にて

#### 3.次回参加者を考えている皆さんへ

少しでも興味があるなら行ってみるべきだと思います。英語は苦手でしたが、シアトルの方々はとてもフレンドリーで気さくな方ばかりです。多少理解ができなくても、伝えようと頑張れば向こうも理解しようとしてくれるので、快く助けてくれます。

(生活面について) 私の家では、洗濯はお願いすれば回してくれました。最低3着ずつ持っていけば着回すこともできるので足りると思います。移動手段はバスでした。私の場合、家が遠かったので、オルカパスではなく、u-pass という乗り放題のカードを買いました。これは、大学初日に説明があります。ネット環境はとても充実していて、ほとんどのお店に WIFI が飛んでいました。私のホストファミリーはもしものためにプリペイド携帯の購入を勧めてくれました。ですが、これは日本で準備していくことをお勧めします。

よくわからないことは先生に相談すれば、親切に付き添ってくれたり、調べて

くれることがあるので、一人で行動せずに先生に相談することをお勧めします。



左 大学内の桜並木 右 現地で購入したプリペイド式携帯

#### 4.最後に

今回ワシントン大学短期英語留学に参加して、格段に英語が向上したということはありません。ですが、モチベーションの向上や新しいことを発見することができました。3週間という短い期間です。一度留学をしてみたいと思っている方、最初から長期の留学は不安だと持っている方は是非参加してみてください。私は、素敵な風景やシアトルの方々、またクラスメイトに出会うことができました。